

自民品確議連



制度検討部会長に岸田氏

古賀会長「公共事業拡大と適正利益を」

自民党の「公共工事業品質確保に関する議員連盟」(品確議連)会長・古賀誠選対委員長は17日に総会を開き、麻生太郎内閣で入閣した金子一

義国土交通相の後任の制度検討部会長に岸田文雄衆院議員を選出した。品確議連の総会は6月9日

焦点であり、最大の努力を払っている。対応を積み上げる中で公共工事業の品質を確保し、入札契約制度においていかに正常な利益を出していくかも

大事だ」とあいさつした。応じた発注単価の見直しを求めている意見も出された。

国交省の関克己官房技

術審議官が6月9日以降

の対応を中心に各省庁の適正価格による契約の品質確保に向けた取り組みを強調する意見もみを紹介。同省の小澤敬出され、建設業従事者が市建設流通政策審議官が普通生活できる労務単価を求めている声も上がった。公共事業の量を増や法に基づき公共発注機関た。公共事業の量を増やの入札契約制度実態調査の結果と、資金繰りの円滑化をはじめとする地域中小建設業者への支援制注を強いる結果になると度で説明した後、議論に整理してほしいという要望も出された。

質疑では、各議員から景気対策としての公共事業の必要性が相次ぎ指摘され、建設会社が公共工事を施工しても赤字にならないよう、物価変動に